

院内学級とは

院内学級とは、病気やけがのため、入院しなければならない児童生徒のために病院内に設置された病弱・身体虚弱特別支援学級です。

入院のために目標を持ちにくく、生活のリズムが乱れがちな児童生徒の精神的な支えとなり、学習面で遅れないように基礎学力の充実を図る指導を行っています。

院内学級ってどんなところ？



学級担任の先生がいるのですか？

- 教室に1名、病院隣接校(院内学級設置校)から学級担任が配置されています。前籍校や病院スタッフ等と連携を図り、学習内容を決めて個別の時間割を編成します。



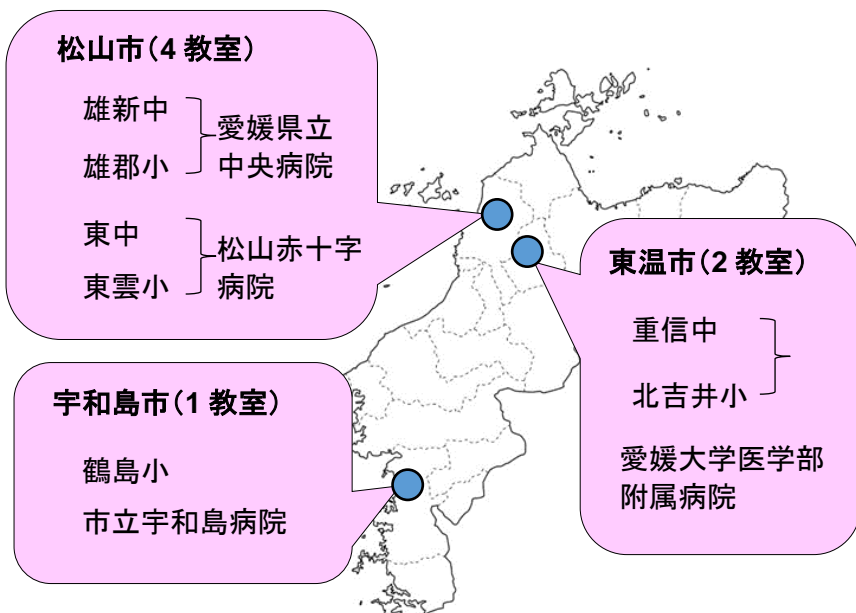
どんな特色がありますか？

- ベッドサイド学習など一人一人の状態に応じた授業を行っています。
- 少人数指導を生かした個々の学習進度に合わせた授業を行っています。また、ICT機器も適切に活用していきます。
- 病気の状態に応じて指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な学習を進めています。
- 健康の維持や管理、改善の指導は、病院と連携を図り自立活動の内容に配慮して指導しています。
- 不安に寄り添った心理的なケアに努め、情緒の安定を図っています。



愛媛県内のどこの病院に設置されているのですか？

県下の院内学級設置状況 (R3.現在)



院内学級スナップ写真集



市立宇和島病院



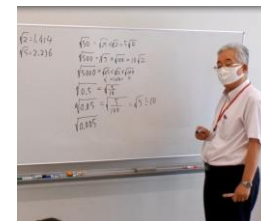
愛媛県立中央病院



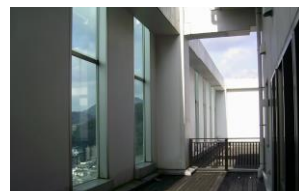
愛媛大学医学部附属病院



松山赤十字病院



数学の授業
学級担任以外の教員が、専門的な授業を行う場合もあります。



ベランダ
教室に隣接する環境を生かした学習も実施しています。



理科の実験
実施可能な実験は、工夫しながら行っています。



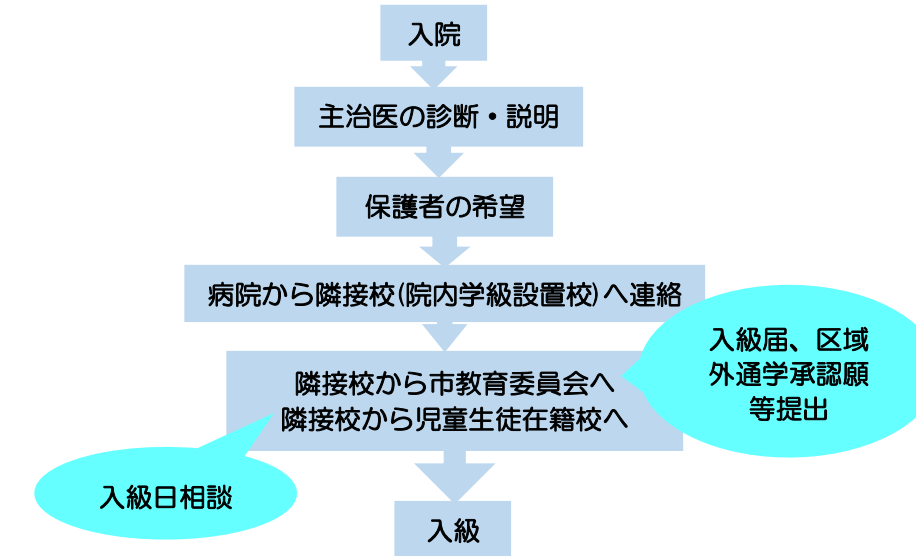
ICTの活用
調べ学習や遠隔授業など、効果的な活用を進めています。



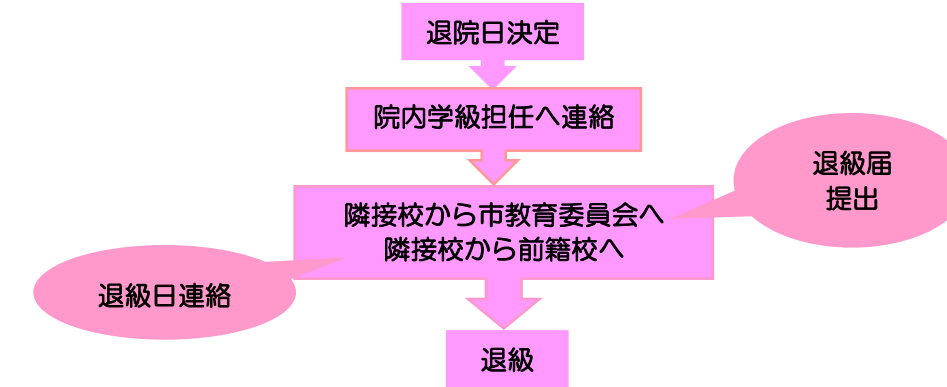
手続きはどのようにするのですか？

大まかな流れは、下のようになります。

(入級) 在籍校から病院隣接校(院内学級設置校)への転入



(退級) 病院隣接校(院内学級設置校)から前籍校への転出



※ 届については、名称等、市により異なるものもあります。
入級退級は転出入扱いのため、転学書類の送付が必要です。



どんなスケジュールで学習していますか？

入院している子どもの日課には、患者として、検温、診察、検査、採血、処置等、それぞれの病院で決められている時間があります。

院内学級では、病院の日課を考慮しながら、生活リズムの形成を図るために、院内学級日課表(校時表)に基づいて、日々の授業を行っています。

時間	内容	時間	内容
	朝の会	9:10~	9:25
1	教科	9:25~	10:05
2	教科	10:15~	10:55
B	検温・採血 ベッド学習	11:00~	11:20
3	教科	11:20~	12:00
	給食・昼休み	12:00~	13:20
4	教科	13:20~	14:00
5	教科	14:10~	14:50
	終わりの会	14:50~	15:00
B	検温・採血 ベッド学習	15:00~	15:30

院内学級日課表の一例

愛媛県内に設置されている院内学級 (病弱・身体虚弱特別支援学級)

愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 東温市志津川 454
089-964-5111(代)



東温市立重信中学校 089-964-2007

東温市立北吉井小学校 089-964-2119

愛媛県立中央病院

〒790-0024 松山市春日町83番地
089-947-1111(代)



松山市立雄新中学校 089-931-8261

松山市立雄郡小学校 089-931-3197

松山赤十字病院

〒790-8524 松山市文京町1番地
089-924-1111(代)



松山市立東中学校 089-924-8588

松山市立東雲小学校 089-924-6987

市立宇和島病院

〒798-8510 宇和島市御殿町1番1号
0895-25-1111(代)



宇和島市立鶴島小学校 0895-22-0578

入院している子どもたちのための学校としては、院内学級のほかに、愛媛県立子ども療育センターから通学できる愛媛県立しげのぶ特別支援学校があります。

院内学級担任から

わたしたちが大切にしていること

子どもたちが、退院した後、円滑に前籍校に戻ることができるよう、次のことを大切にしています。

- 学習空白の解消
 - ・ 体調に配慮しながら、通常の小・中学校に準じた学習を行います。
 - ・ 病院スタッフと連携し、教室に来られないときは、病室授業をします。
- 前籍校との連携
 - ・ 前籍校の教科書等を使用し、前籍校へのスムーズな復帰を目指します。
- 規則正しい生活へのアドバイス
 - ・ 望ましい生活リズムの形成、メンタル面の健康維持に配慮します。

「院内学級の大きな役割は、教育の持つ力を使って、子どもたちに治療のエネルギーをためることである。(副島賢和氏)」の言葉があります。わたしたち院内学級担任一同、入院している子どもたち一人一人に寄り添い、よりよい支援を目指して、日々の教育活動を進めていきたいと思っています。



入院している子どもたちのための学校

えひめの 「院内学級」について

院内学級紹介リーフレット

入院している子どもたちのための学校
えひめの「院内学級」について

作 愛媛県教育研究協議会特別支援教育委員会事務局
愛媛県院内学級研修会(院内学級担任者)

発行日 令和3年9月1日

